

# 【第1回】旧庁舎解体工事 進捗状況 (R5.10/31発行)

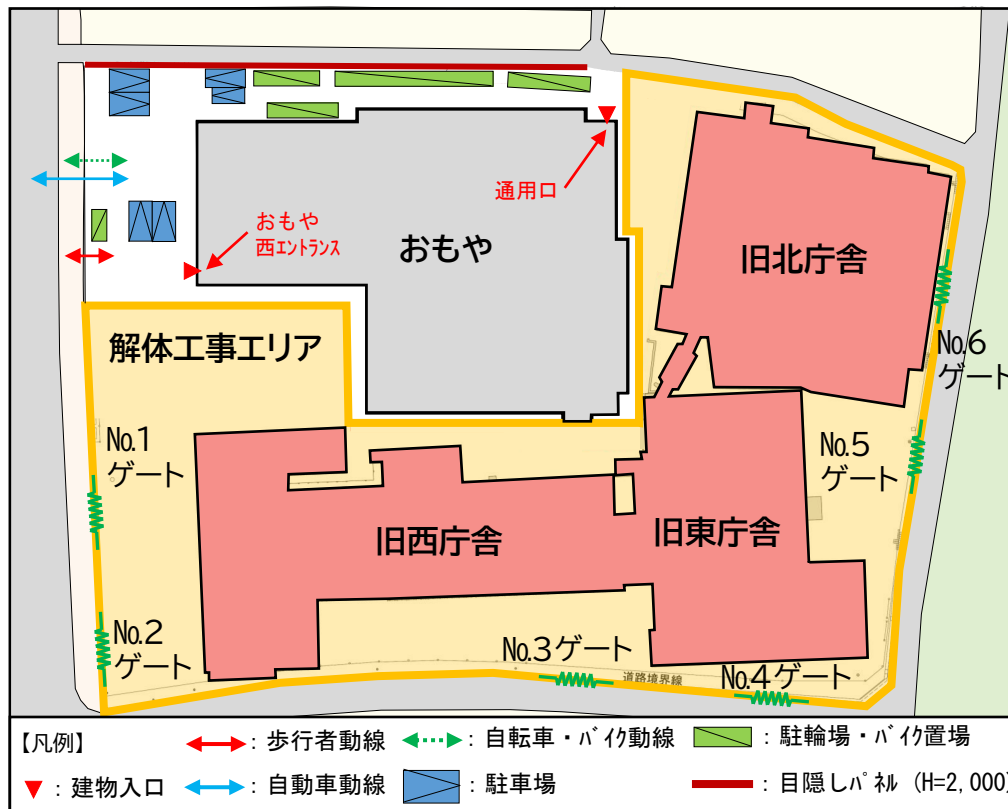
※次回更新  
R6.3/18予定

作成者：府中市新庁舎建設推進室  
大成・三浦 建設共同企業体

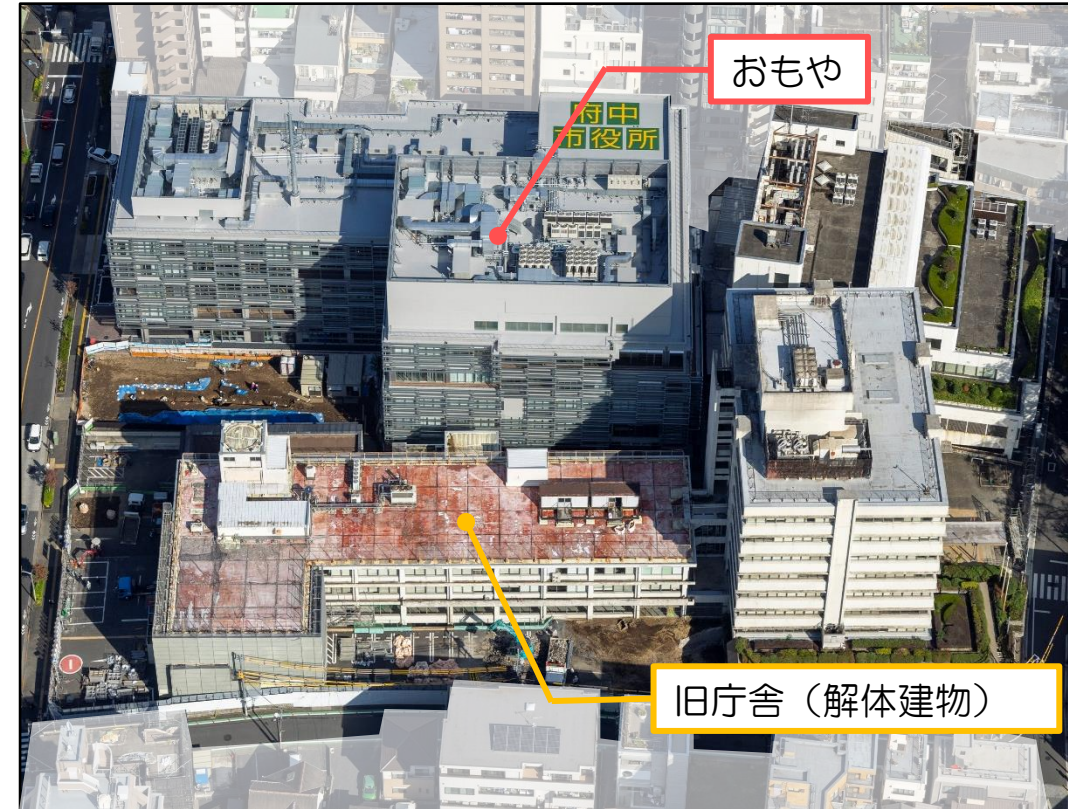
## 【解体建物概要】

敷地面積	11,633.89㎡
構造	【旧西庁舎】 鉄筋コンクリート造 【旧東・北庁舎】 鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	【旧西庁舎】 地上3階 地下1階 【旧東庁舎】 地上8階 地下1階 【旧北庁舎】 地上5階 地下2階
最高高さ	【旧西庁舎】:20.24m 【旧東庁舎】:40.62m 【旧北庁舎】:25.80m
延べ面積	22,186.49㎡

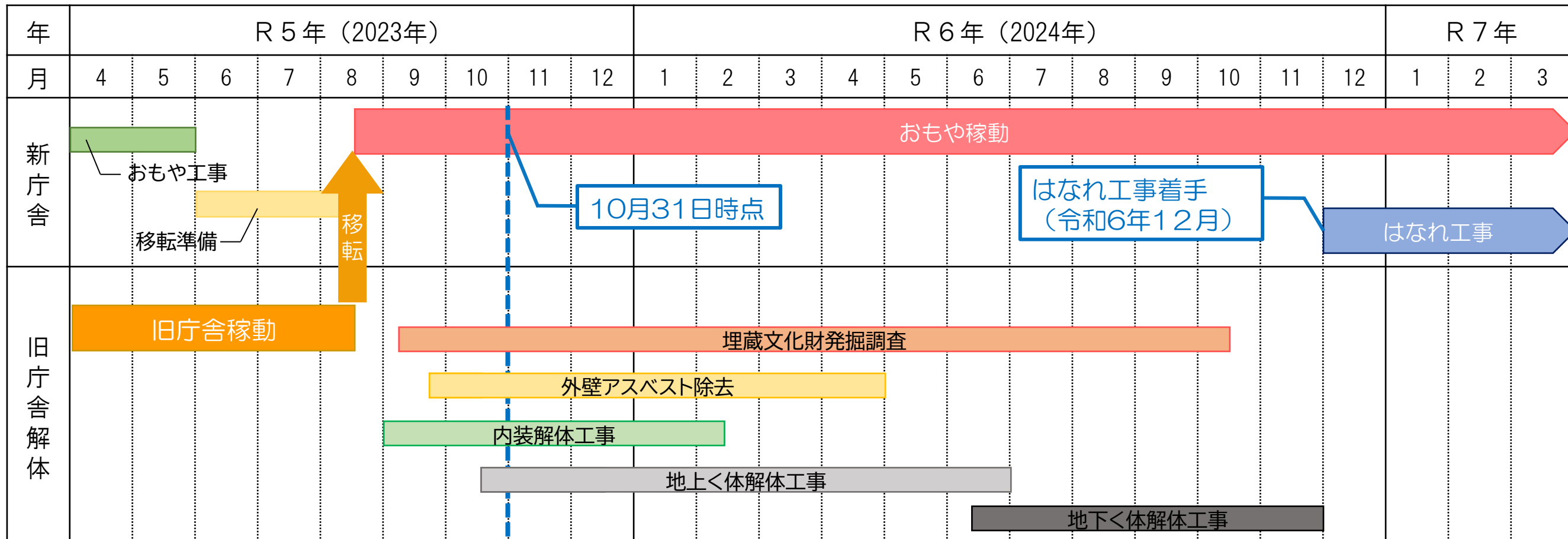
## 【配置計画 (おもや稼動時)】



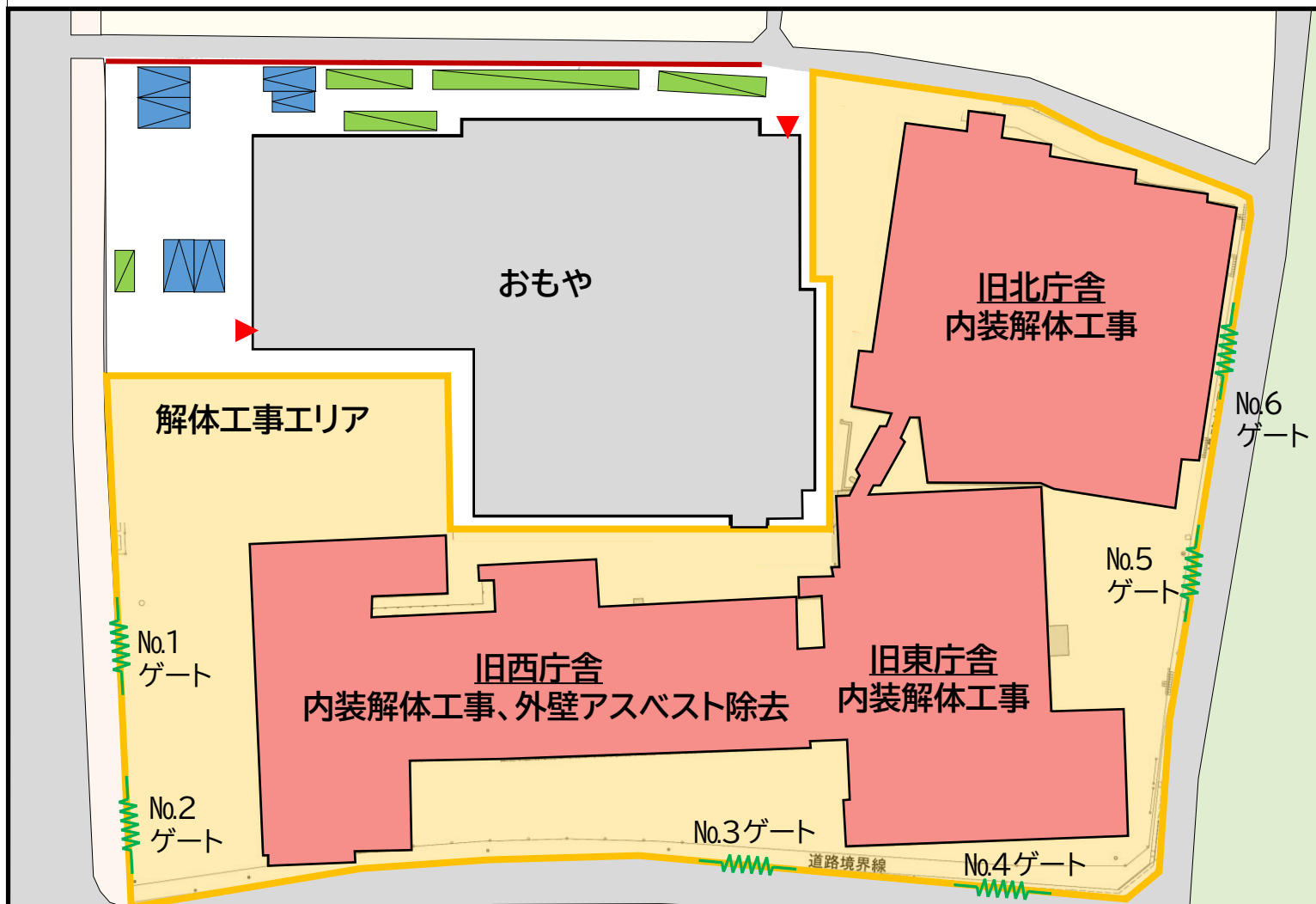
## 【航空写真 (R5.10月12日時点)】



## 【工程表】



## 【平面進捗図】



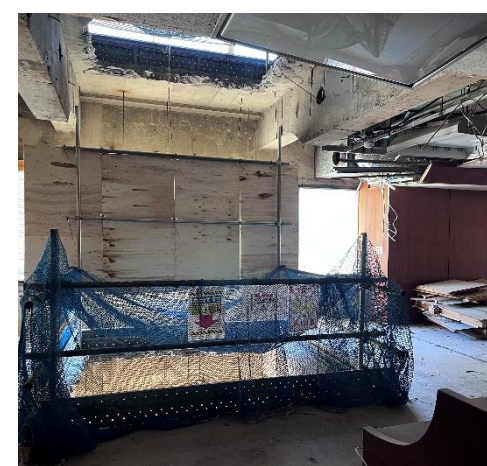
### ●旧北庁舎解体状況：鉄骨鉄筋コンクリート造【地上5階地下2階】



・【5F】  
床、壁、天井の内装解体を行っています。仕上げ材や下地材を撤去したことで躯体が見えてきました。

・壁の仕上げ材を撤去しました。躯体の跡から、コンクリートに直接仕上げ材を張るGL工法で作られたことがわかります。

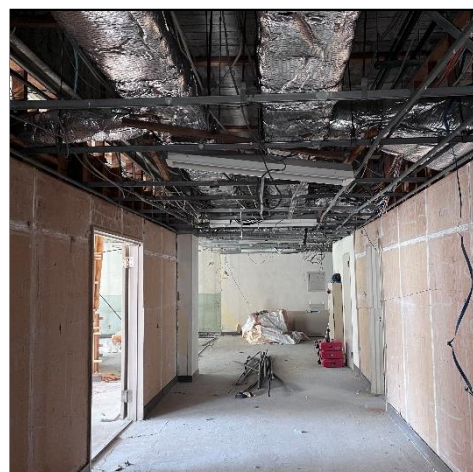
### ●旧東庁舎解体状況：鉄骨鉄筋コンクリート造【地上8階地下1階】



・【2F】  
内装材の撤去をしています。OAフロアだった部分は、改修したようで、床の仕上げ材の上からOAフロアを張っていました。

・【3F】  
一部先行して床を解体しました。1階から8階まで同じ箇所に開口を開けており、上の階の解体作業で出た内装材や廃棄物をここから下の階へ降します。

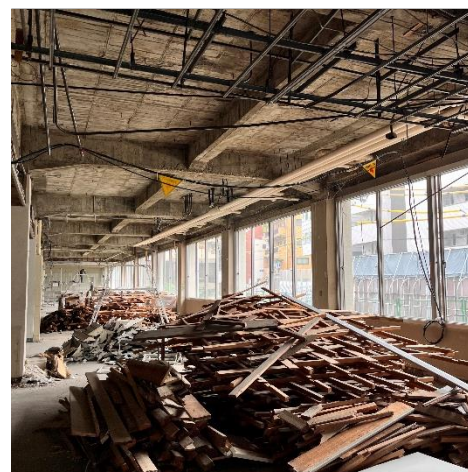
### ●旧西庁舎解体状況：鉄筋コンクリート造【地上3階 地下1階】

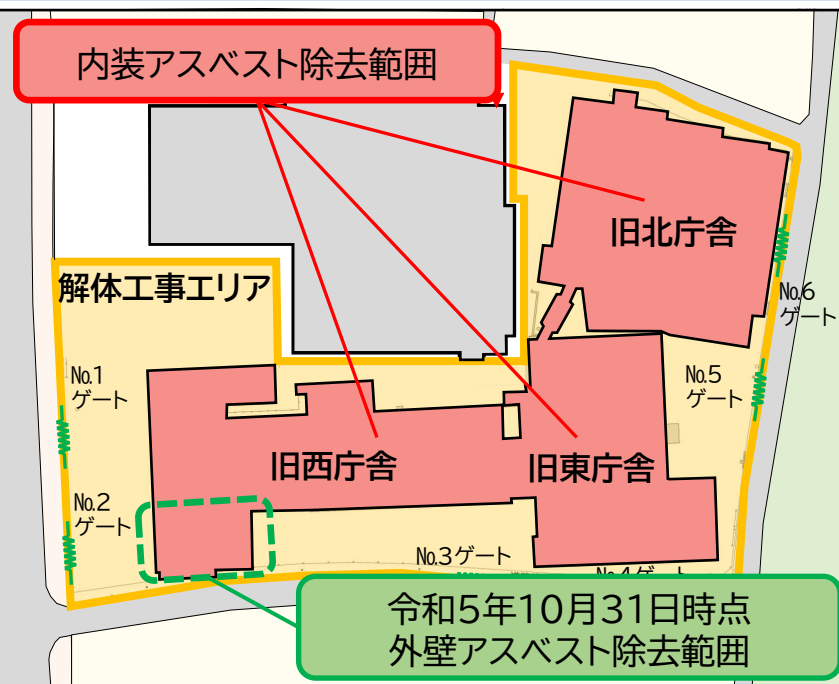


・【2F】床、壁、天井の内装解体を行っています。天井内の設備機器が見えてきました。



・【2F、1F】  
天井面のコンクリートの躯体が見えてきました。昭和30年代に建設されたということもあり、型枠の跡が細かく入っています。





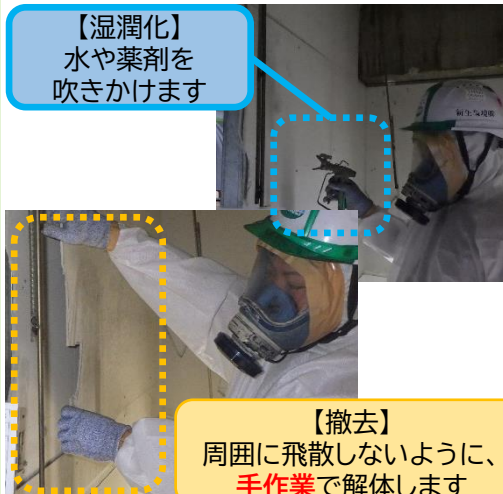
## ●アスベスト(石綿)について

・アスベスト(石綿)含有建材は、粉塵の発生しやすさに応じて、次のレベル1～3に区分されます。レベル1が最も粉塵が舞いやすく、除去時の対策も厳重になります。

※粉塵の発生しやすさ

- 高い ↑
- レベル1 : 鉄骨天井の吹付材等
  - レベル2 : 配管屈折部の保温材等
  - レベル3 : 壁、天井の成形版等
- 低い ↓

## ●アスベスト除去(レベル3:成形版)



・建物の天井や壁の仕上げ材、下地材として利用されている「ボード」にアスベストが含有されています。アスベスト含有建材の中で最も飛散するリスクが少ない建材です。除去する際は、アスベストが飛散しないよう、水や薬液で「湿潤化」を行い、湿らせた状態で解体します。

## ●アスベスト除去(レベル3:外壁塗材)

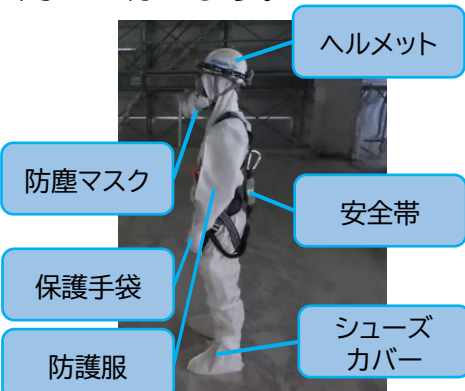


・吹付アスベストの除去には、作業前に飛散防止剤を散布します。**集塵機能付き器具**で吸い込みながら除去することで周囲への飛散を防止します。

・除去したアスベストは、袋で2重に梱包します。廃棄物の運搬及び処分についても専門業者で行い、適切に処分します。

## ●使用器具について

・吹付アスベストの撤去は防護服及び防塵マスクを着用して行います。



・防塵マスクはアスベストのレベルや除去作業の種類に応じて使えるものが異なります。レベル1の除去や研磨を伴う作業の場合は最も性能が高いものが必要です。

・外壁材等の研磨に使用する、ディスクグラインダーは、やすりを高速で回転させ塗材を削る機械で、掃除機が一体となっており、研磨と吸い取りを同時に行うことで飛散を防止します。

## ●隔離養生について



・吹付アスベストの撤去には、**隔離養生施設(セキュリティゾーン)**を設置します。作業終了後は**防護服を脱いだ後、エアシャワー**で粉塵を飛ばし、外へ出ます。

・隔離養生空間内は**負圧**(外に比べ室内の空気圧が低い状態)とし、**外から中へ空気の流れを作り**粉塵が外へ出ないようにします。室内の空気は「**HEPAフィルター**」を通した排気装置で外に排出されます。

## ●アスベスト除去(レベル2:保温材)



・空調用配管や給水配管など保温を必要とする配管の曲がり部分にアスベストが使用されています。配管の曲がり部分を保温材の上から**ビニールで養生**し、飛散防止処理を行います。アスベストが含まれる曲がり部分を避けた位置で、**両端をカッターで切断**します。撤去したものは2重梱包し、専門業者により運搬、処分します。